

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	熊本中央広域市町村圏協議会参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 濱田 善也
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	企画財政課	担当者名 齋藤 正典
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進	所属班	政策企画班	(内線) 1245
				法令根拠	地方自治法第252条の2から第252条の6 熊本中央広域市町村圏協議会規約	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	9
	1	2	1	11	11082			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S47 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
熊本市を中心とした市町村圏において、圏内の振興整備に関する広域市町村圏計画を策定し、調和ある発展を推進するという目的で設置された熊本中央広域市町村圏協議会に参画する事業である。協議会の会長は熊本市、副会長は合志市で、事務局は熊本市が担当している。

【業務の流れ】
・協議会総会へ参加する。・広域連携検討部会において、各課題を検討する会議に参加する。・協議会主催の研修講演会等に参加する。・「SALK(さるく)肥後っ子パスポート事業」「子ども交流促進事業」に参画する。・行政課題共同研究会に参加する。

【主な予算費目】負担金補助及び交付金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	・協議会総会、広域連携検討部会、研修講演会、行政課題共同研究会への参加 ・「SALK肥後っ子パスポート」の配付(市内小中学校)・子ども交流促進事業(小学 生山都町キャンプ体験学習)への参画	・協議会総会、広域連携検討部会、研修講演会、行政課題共同研究会への参加 ・「SALK(さるく)肥後っ子パスポート」の配付(市内小中学校)・子ども交流促進事業(合志市担当)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 構成市町村	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア「SALK(さるく)肥後っ子パスポート」配付部数 部 イ 子ども交流促進事業参加者総数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア 圏域内市町村数 団体 イ
・広域的行政課題に連携して取り組む。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 広域的に取り組んだ事業数 本 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 年度目標を達成した施策の成果指標の割合 % イ
計画的に実施されている。		

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	148	174	148	148	140	140		140
	うち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0		0
	うち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	0	0	0		0
	正規職員従事人数		人	3	3	3	3	3	3		3
	延べ業務時間		時間	68	68	68	68	68	68		68
(B) 人件費計		千円	270	271	271	271	271	271	271		
トータルコスト(A)+(B)		千円	418	445	419	419	411	411	411		
活動指標		ア 部 イ 人	87000	87000	13000	13000	86275	0	0	0	
対象指標		ア 団体 イ	9	9	9	9	9	9	9	9	
成果指標		ア 本 イ	4	4	3	4	3	3	3	3	
上位成果指標		ア % イ		50	60	51.3	80	100		100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
地方自治法第252条の2の規定に基づく協議会として、昭和47年に発足し、その構成市として、熊本中央広域市町村圏内の振興整備に関する計画(広域市町村圏計画)を策定し、圏域の調和ある発展を推進するために参画している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合併前の旧合志町、旧西合志町もそれぞれが加入しており、合併後も合志市として加入している。(現在、熊本市、合志市、大津町、菊陽町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の2市7町)圏域内の人口は約87万人、面積は約1,241km²である。
平成20年度総務省自治行政局市町村課町名で県が設定した広域行政圏域での施策について、当初の役割を終えたことから、廃止する内容の通知が出されていることから、本協議会の圏域の枠組みの存廃等についても平成21年度中に、構成市町村の委員や審議委員の意見を聴きながら、その方向性を決定する方針になっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特に聞いていない。

事務事業名	熊本中央広域市町村圏協議会参画事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 質の高い行政サービスをめざすためには、熊本中央地域との連携が必要であり、各種施策・課題を解決していくうえでも必要な事業であり、結び付いている。小中学生を対象にした圏域内の公共施設を活用できる肥後っ子パスポートについては、21年度をもって廃止となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 地方自治法上で規定された地方自治体間が組織する協議会であり、市民への行政サービス向上と市町間連携のために、公共的に関与することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ この事業により、市民が直接的な恩恵を受ける機会は、肥後っ子パスポートの対象である小中学生となるが、市としての情報交換、関係市町との事業連携、調整が参画によって円滑に行えることが期待でき、その効果が市・市民・小中学生に反映されることから、対象及び意図は妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 参画することによって受ける恩恵が目に見えにくく、肥後っ子パスポートの利用状況も把握しにくい面がある。21年度中に本協議会の圏域の枠組みの存廃等について協議されるようになっている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ この参画事業は熊本市を中心とした9市町で構成されており、参画から撤退することになると、他の構成市町に大きな影響を与えることになるが、21年度中に本協議会の圏域の枠組みの存廃等について協議されるようになっている。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) 熊本市圏及び政令指定都市についての研究会と目的が重複する部分がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 熊本市圏及び政令指定都市についての研究会参画事業でも都市圏ビジョン・基本計画を策定しており、本事業と重複する点がある。将来的には統廃合・連携のあり方を検討する必要がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 上記、類似事業との連携により統廃合の可能性はあるが、熊本市圏及び政令指定都市についての研究会参画事業は熊本市の全額負担で賄われており、事業費の削減は期待できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 上記、類似事業との連携により統廃合の可能性によって、職員が協議する場の統一化や重複する事務作業の効率化が期待できる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市、市民、市内の全小中学生を対象としており、公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>②有効性については、熊本市圏及び政令指定都市についての研究会参画事業でも都市圏ビジョン・基本計画を策定しており、本事業と重複する点がある。③効率性については、類似事業との連携による統廃合の可能性によって、職員が協議する場の統一化や重複する事務作業の効率化が期待できる。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						
<p>平成20年度総務省自治行政局市町村課町名で県が設定した広域行政圏域での施策について、当初の役割を終えたことから、廃止する内容の通知が出されていることから、本協議会の圏域の枠組みの存廃等についても平成21年度中に、構成市町村の委員や審議委員の意見を聴きながら、その方向性を決定する方針になっている。</p>																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策特になし。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)